

# 公民館だより

第 68 号

平成 30 年 3 月

上宮津  
地区公民館

## 地域と伴に

上宮津地区公民館 館長 智原芳明

全国的に少子高齢化が進む中で、上宮津を元気にしようとする多くの団体様が公民館を拠点にして活動されているところです。とりわけ今年度は地域会議の事業に係わる利用が多くなりました。

公民館の年間事業につきまして、皆様のご協力により、当初の計画に沿う形で実施できたことに厚くお礼を申し上げます。

しかし、今年度はひとの力ではどうすることもできない自然の猛威を感じる事態も起こりました。それは台風による建物への被害です。

今年の台風は北からの吹付

が強くて壁や屋根が傷み、各所で雨漏りがしました。

現在の公民館の建物は昭和三十三年に加悦町より移築されたもので約六十年が経過しています。長年の風雨に耐え、今日まで来たところですが、随所で老朽化が進んでいたのです。

「閉校になった小学校へ公民館が引越してはどうか」との意見もあったところですが、現在の所が使い勝手が良いという結論に達し、今後も必要な修理を加えて使用していくことで結着しました。

さしあたり非常階段の修理を始めとして現在雨樋の付け

替えや事務所の屋根の葺き替えが行われています。

これで大雨でも雨漏りの心配がなくなり安堵しているところとです。次号の「公民館だより」で改修後の様子をお知らせができる事と思います。

次に、地域の関わりで公民館もこんな役割が担えるのだという事がありましたので紹介します。

毎年三月に男の料理教室を行っています。今年は食材にホンモロコを使つてのメニューにしました。このホンモロコは現在上宮津小学校のプールとプールサイドの水槽、それに昨年から始まった休耕田で飼育されています。地域起し支援事業の取り組みが本格化し、モロコプロジェクトの皆様が大変な苦勞をされている様子を見ている中で、公民館として何か力になれることはないものかと思つていました。

公民館は昨年、一昨年と農

業文化祭でホンモロコのコーナーを設けて、水槽で泳ぐ様子を皆様に見ていただいて、天ぷらや素焼きにして試食会を行なつてきたところです。

しかし、未だ地域に知られていないホンモロコの更なる魅力を広く知ってもらいたいとの思いから男の料理教室を実施する事にしました。

講師は四区の浜崎和雄様にお願ひして、ホンモロコの様々な料理法を教えていただきました。淡白な中にもほのかな甘さを感じる上品な味に参加者は「うまい！いける！」感嘆の声を上げました。

特に生産に携わっている人たちにとつて「納得のいく、味わい深い物を作っている」という自負心は将来の事業化に向けての第一歩につながるものと感じたところです。

今後は情報の提供や周知など地域のニーズに寄り添う公民館活動が必要であると思ひました。

## 一年を終えるにあたり

上宮津自治連合会

会長 八尋慈教

早いもので大役を仰せつかって一年が過ぎました。不安いっぱいでのスタートでしたが、自治会長様はじめ区長様方のご指導と、地区の皆様方のご協力、お力添えを頂き何とか終えようとしています。

自治連会長と言うよりも地域会議としての活動が多く、本来の仕事が出来なかった事を反省しております。

地域会議の活動が地域の賑わいと地域力の向上になればと精いっぱい皆様と共に活動してきましたつもりです。

地域会議ニュースに掲載の通り数々の活動と実証実験も予定通りの進捗を見ました。

今後は地域としての事業化に向けて努力が必要です。

上宮津地区も空き家が多く

なり、その活用と旧小学校の跡地利用がこの地域にとって欠かせない課題です。今年度は今福1世帯、七区に2世帯の入居がありました。四月以降は3世帯の入居予定があります。全世帯とも子どもさんがおられて大変にぎやかに嬉しく思っております。

今後も所有者の方々と連絡を取りご理解を頂いて多くの入居者を期待します。入居希望者につきましては事前に区長さんを通して近隣の皆様へは周知したいと思えます。地区の風習、自治会費、行事等事前に知らせて、後のトラブルにならない気配りも大切だと思っております。空き家の

解消が地域の環境整備にも繋がっていくものと考えます。

皆様方の協力なしではこれを推進することも不可能です。将来の上宮津を見据えたご協力とご理解をお願いします。

懸案になっております旧小学校跡ですが地域のコミュニティの場所として事業や産業に繋がる有効活用を含めた計画をしています。

地域会議、夢会議とも連携しながら三十年代は一歩前に進めたいと考えております。

今年度より宮津市からの依

頼により灯籠流しで使用します。棧俵作りも始めました。

ご都合のつく方は小学校の職員室で作製しておりますのでご協力をお願いします。

今後とも自治会活動に尚一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。

素晴らしい上宮津地区民皆様は上宮津の誇りです。前向きでにぎやかで元気な笑いの絶えない上宮津にしましょう。



旧小学校での棧俵作り

## 「定住促進」の取組みについて

上宮津地域会議副会長 粉川宗久

## 一 定住促進の標語について

『自然と元氣と合力が宝  
 なんだで上宮津の』いきなり  
 で恐縮ですが、この標語を合  
 い言葉に、地域の魅力を発信  
 していきましょう。

## 二 今年度に取り組んで

きたこと

昨年十月には、篠山市の一般社団法人ルート、谷垣友里様に研修会に来ていただき、空家の利活用等、経験豊かな地域づくりの取組みを伺いました。十二月には、先進地視察で綾部市及び篠山市に行きました。綾部市では、豊かで清らかな里でがらる自治会の方と身近に接することができましたし、篠山市では、空家をリフォームされたイタリア家庭料理店等を見学しました。(写真参照)

そうした体験を糧に、今年二月には会議を行い、今後の取

## 三 今後の取組みについて

一 つには、地域の魅力の発信と、訪れた方への現地等への案内・交流です。自然・歴史、稲刈りや草刈り等の農業体験、お祭りや食文化等といった地域の営み 等々の魅力の紹介を行い、そうした交流を通して上宮津のファンを増やします。こうした取組みの目標は、定住を目指しています。

二 つには、空家の利活用です。京都府や宮津市の支援をいただきながら、そして空家所有者のご理解を得ながら、移住希望者への「住まい」の確保を目指します。目に見える取組みとして、当地域会議が空家をお借りして、移住希望者向けの「お試し住宅」確保を行いたい。空家の利活用については、今後、息の長い

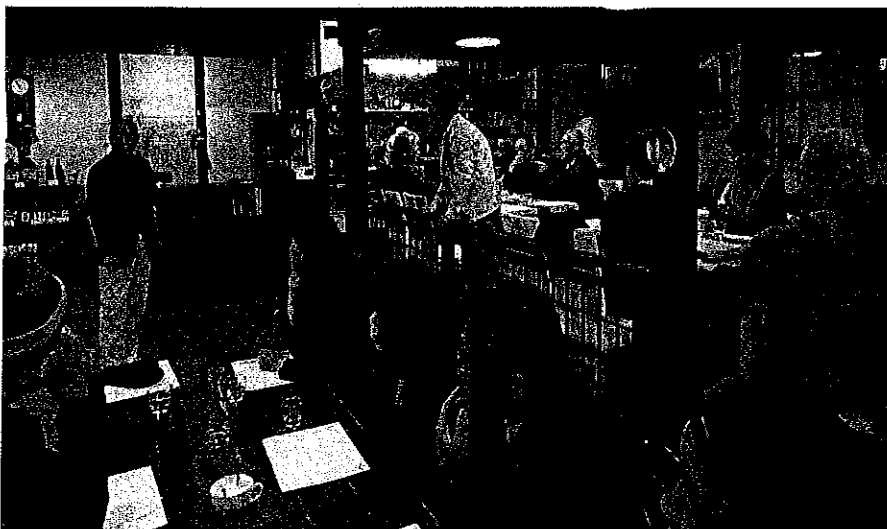
取組みが必要となってきました。

三 つには、こうした活動組織の拠点を旧小学校跡地に設置して活動の強化を目指します。(旧小学校跡地利用計画では、地元の方々の利用を第一として取組んでいます。多様な利用の仕方を考えていきます。)

## 四 再び標語について

昨年の綾部市への視察時のことです。高齢化と人口減少の止まらない老富地区で、地域活動として栃餅を作ることにしました。地域が一つにまとまり活動が始まりました。公民館を改修して栃餅の製造所と販売所のコーナーも作りました。栃の木を大切に育てる様になりました。

鹿が「栃の実」を食べる被害が出たので、鹿害防止ネットを張りました。みんなが助け合いながら、地道な取組みが続いています。要約すると、こんな話ですが地元の前向きな姿勢に、とても元気をいただきました。同時に標語のヒントもいただきました。



先進地視察(篠山市福住)イタリア家庭料理店で講習

「上宮津での一年が過ぎて」

秋山 美香

昨年の三月に一家で上宮津小香河地区に引っ越して早くも一年。地域の皆さんには温かく受け入れていただき、本当に感謝しております。

私は京都市東山区出身で、十年程前結婚を機に宮津へ来ました。夫婦共に学生の頃に、子供達とキャンプや、自然の中で遊ぶボランティア活動をする中で、家族が出来たら自然豊かな環境に住んでみたいという憧れがありました。子供の成長につれ、住まいを改めて考え始めたタイミングで上宮津に知人友人が出来、何度か足を運ぶうちに魅力を感じ、現在の家を見つけて定住を決意しました。

自然豊かな里山では、四季の移り変わりが良く感じられます。長男の登下校中に、子

供達とそんな話をしながら歩くようになりました。暑い季節は目の前の川で水遊び、雪が積もればたつぷりと雪遊びができる環境に、子供達も満足しているようです。



一年間で上宮津のたくさんの方の行事にも、楽しく参加をさせて頂いていただきました。特に、引っ越し早々の上宮津祭りでは、子供達は太鼓や御馳走に大喜びな一方、大人は準備や段取りが分からず、地区の方に色々とお助けいただきました。

祭り当日、真っ暗闇の中、提灯をつけた屋台が列になって進んでくる幻想的な情景は忘れられません。行事に参加することで、地域の色々な世代の方と過ごせる環境は、子供達にとってとてもありがたいことだと思えます。

子育てに追われる日々ですが、せっかく上宮津に暮らしているのも、これからこの地域で自分がやりたい事、やれる事を少しずつ見つけていきたいと思っています。ひとまずは、こんなにやく作りと、庭に畑を作りたいと思います。

また、上宮津では移住定住促進に力を入れておられるので、先に経験した者として、お手伝い出来ればとも思っております。社会的にも若者の



地方移住が増えているようですが、私の周りの宮津在住の友人からも、自然のある環境に興味があるという声を聞きます。ただ、空き家情報や地域の様子は地元の人でないと入手しづらいため、市内外にもっとオープンな形で知っていただく機会が必要であるように感じます。

これから地域の一員としてお役に立てるよう、頑張っていきたいと思っております。親子共々どうぞよろしくお願いたします。

地域会議と  
コラボ

# 男の料理教室 2018.3.3



ホンモロコとは

琵琶湖固有種のコイ科タモロコ属に属する淡水魚だが、現在は各地の湖沼などで養殖されている。体長は10センチほど。関西ではなじみがあり、天ぷらや甘露煮、南蛮漬けとして人気がある。クセのない白身は独特の旨みと風味があり淡泊で骨が柔らかく丸ごと調理できる。漁獲高が減り現在では幻の魚と呼ばれるほど貴重な高級魚である。

今回の男の料理教室は上宮津地域会議がモロコ養殖事業で旧上宮津小学校プールと休耕田で育てた“上宮津産ホンモロコ”を食材に使った料理にしました。



まずは食材の調達。プールに設置してある生け簀から網でモロコをすくい、塩で絞めます。何度か塩揉をして洗い、臭みを抜きます。そして、天ぷら・唐揚げ・素焼き・南蛮漬け・赤味噌炊き・オイルサーディン・カナッペ・佃煮の全8品を作りました。どれもとても美味しくできました。オイルサーディンや佃煮は“上宮津ブランド”として商品化できるのではないかと思います。もっともっと大勢の人にモロコの味を知ってもらい、上宮津で美味しい魚を養殖していることを知ってもらえたら嬉しく思います。

4区の浜崎和雄様を講師にお願いして  
レシピを考えて指導していただきました

上宮津地域会議では  
モロコの販売もしています。  
購入をご希望の方は  
**22-2415**  
(上宮津地区公民館)  
までご連絡下さい。



## 平成29年度 公民館事業報告

平成29年度後期の公民館活動を報告します。  
皆様のご理解とご協力で多くの事業が実施できました。

### 公民館の主催・共催事業

#### 1 上宮津地域イベント行事

① 8月14日(月) 盆踊り

☆実行委員会形式で行い、地域の皆様に参加協力を頂いています。

② 9月17日(日) 敬老会

③ 10月8日(日) 運動会

④ 11月11日(土) 12日(日) 農業文化祭

☆実行委員会形式で行い、地域の皆様に参加協力を頂いています。

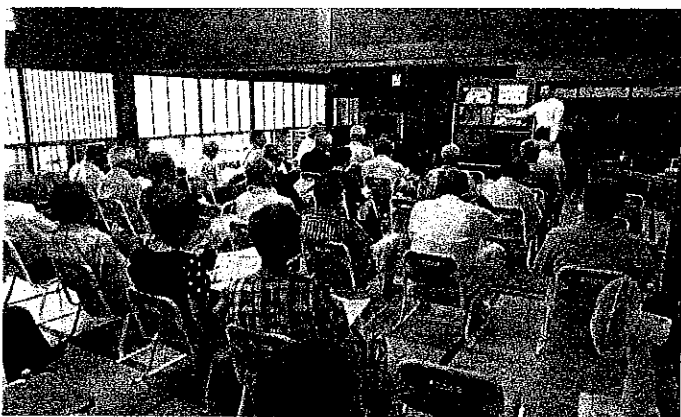


## 2 清掃美化の行事

- ① 6月4日(日)・10月1日(日) 上宮津小学校の校地清掃
- ② 7月30日(日) 地区公民館の大掃除

## 3 文化・教養講座

- ① 7月21日(金) 防犯講演会
- ② 1月21日(日) 人権啓発講座
- ③ 2月11日(日) 新春囲碁大会



防犯講演会



人権啓発講座





#### 4 青少年健全育成

- ① 7月22日(土)・8月26日(土) 12月22日(金) 夜間防犯パトロール
- ② 8月11日(金) 夏休み宿題広場
- ③ 3月6日(土) 新春お楽しみ会

#### 5 体験実習講座

- ① 12月2日(土) しめ縄作り講習会
- ② 3月3日(土) 男の料理教室



#### 6 健康増進の取り組み

- ① 毎月第1金曜日(夜間) 上宮津健康広場

#### 7 サークル活動の支援

- ① バドミントン・囲碁の会・詩吟の会・コーラス・体操教室

### 他団体との後援・協賛事業

#### 8 上宮津地区駅伝

#### 9 辛皮・ホテルとカジカ 夢酔い祭り

